

作図例
緑文字は注釈

境界確定図

協議地 岸和田市〇〇町 100番1、100番4

平面図 S = 1/200

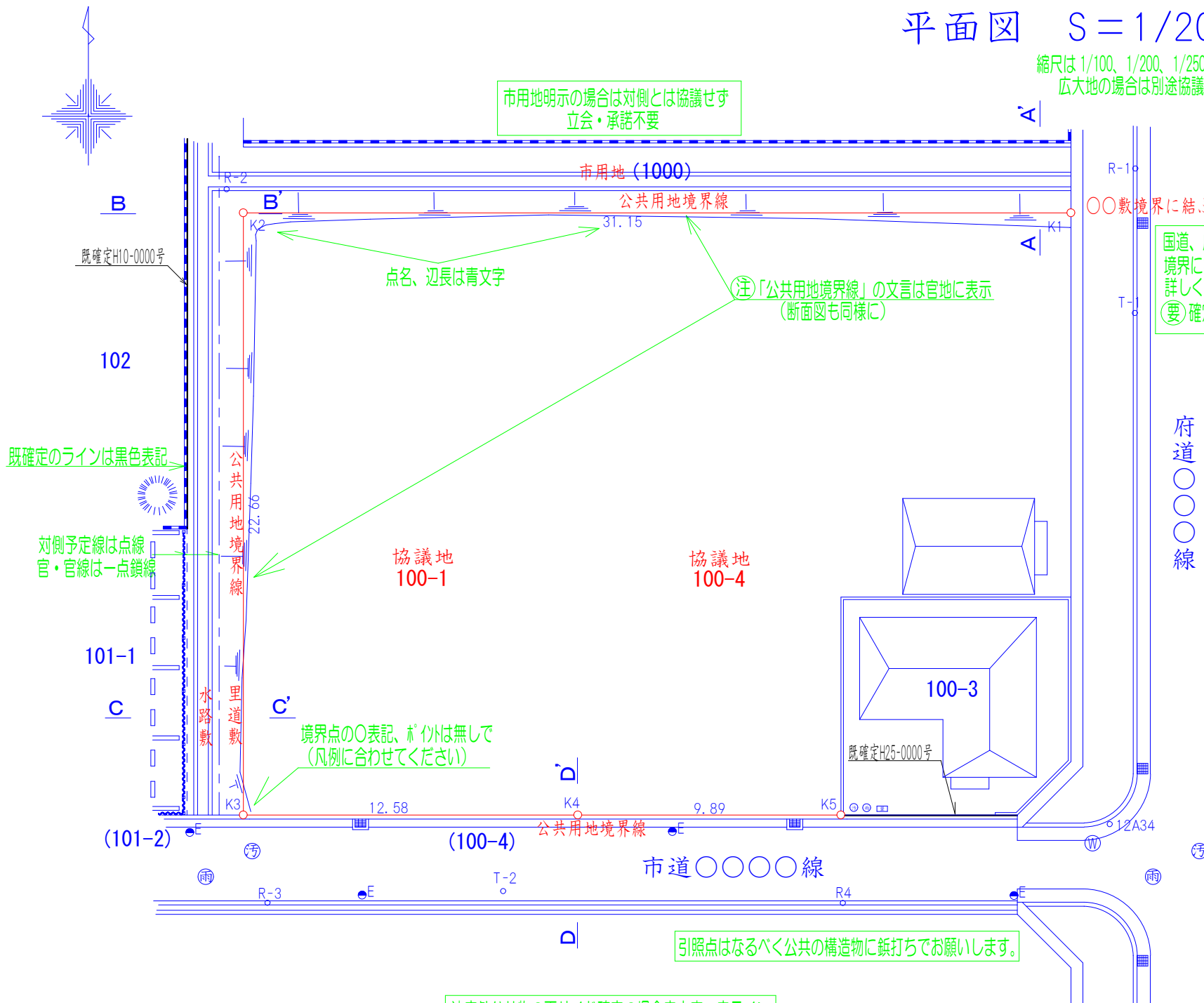
縮尺は 1/100、1/200、1/250 で作図
広大地の場合は別途協議

この例図の文字フォントは「教科書体」を使用（推奨）

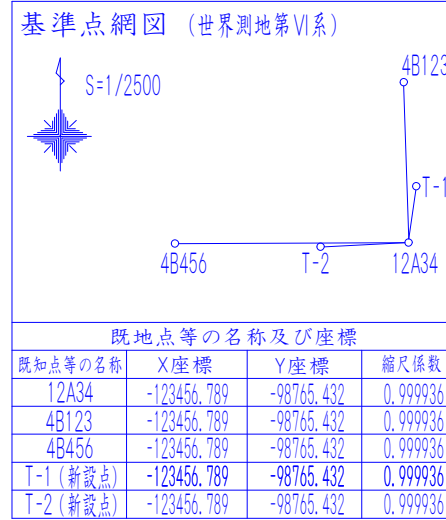
立会 平成〇〇年〇〇月〇〇日

承諾

土地と公共用地（道路敷、市用地、
所有地と公共用地（里道敷、水路敷）
との境界は現地及び図面で表示されたとおり異議ありません。



任意座標の場合は不要



座 標 リ ス ト				
	測点名	X座標	Y座標	標識
境界点	K1	-123456.789	-98765.432	金属標
	K2	-123456.789	-98765.432	プラ杭
	K3	-123456.789	-98765.432	金属標
	K4	-123456.789	-98765.432	金属標
	K5	-123456.789	-98765.432	既設標
引照点	R1	-123456.789	-98765.432	鉄
	R2	-123456.789	-98765.432	鉄
	R3	-123456.789	-98765.432	鉄

測点名は4文字以内で

引 照 点 表		
境界点	点間距離	
	R1	R2
K1	7.782	31.811
K2	38.799	1.090
境界点	点間距離	
	R3	R4
K3	3.412	22.830
K5	21.821	3.304

起終点及び90°折れ点で引照点を設定
中間点はなくてもよい。

凡 例

公共用地境界線



公共用地境界線は公共用地と依頼
民有地との境界であり、民有地と
民有地の境界ではありません。

※地番や基準点等は架空の名称
を使用しています。

断面図 S = 1/100

断面図は路線ごとに起終点に設定が望ましい
同一路線でも断面の変化点があれば作図のこと。
判断がつかない場合は、都度担当と協議。

図面は印入り2部
印無2部
職印は全て押印

測量年月日	
作成年月日	
作成者	〇〇登記事務所 登録番号〇〇〇〇号 〒123-456-7890 土地家屋調査士 〇〇〇〇 職印